

平成28年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・ステップアップ助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
1	河原塚史編纂事業	河原塚史編纂委員会	<p>【会長】 地域の歴史を丁寧に調べ、整理し、読み物に仕上げていく取り組みは、それ自体が目的であります。併せてそれに関わる人たち(編纂員、取材先、町会・自治会など)の結びつきを新たに築き、また深める手段になっていたと受け止めています。郷土史を自らの手で編纂する価値を実感するところです。一つ大きな成果を生み出し、この事業は終了となりますが、松戸市内には河原塚と類似した様相を有する地域が多くあります。そこで、この事業で得られた地域史編纂を介したコミュニティづくりの経験知を他の地域へ伝授されることを期待します。</p> <p>【委員】 活動が終了したというのは残念である。当該活動は、地域史編纂というだけでなく、地域とのつながりを歴史という情緒的なテーマで可能にする。また、ここで貯えた知識は、地域の次世代に継承されるものであろう。ぜひこの活動で蓄積された史的知識、土地感覚を次世代に伝える伝道師となって頂きたいように感じているのは私一人ではないはずである。これからもこれで「終了」ではなく、ここから史的知識を使ったまちづくりの大いなる遺産伝承の活動をお願いしたい。最後に、すばらしい活動お疲れ様でした。</p> <p>【委員】 2400冊刷り、各家庭に1冊寄贈がすばらしいと思います。4年に渡り地道に頑張ったこと、人脈の発掘、ネットワークも優れています。貴重な資料として、後世に残すことが出来た点が良かったです。また、千葉日報社から出版、販売まで出来た点が特筆すべき点です。いかに今後役立てるかが大切です。期待しています。</p> <p>【委員】 はじめに地域の環境や歴史への探究心のある、また書くことにも長けた方のアイデアを、地元の中心となっている方々が、即快く受け入れる姿勢があつて成功した事業であったと思う。地域力の手本とも言える。皆さんの総力と和が成せた、この魅力が、子どもたちを始め、多くの人々へ伝わることと思う。</p> <p>【委員】 地域の歴史を調べて住民に提供し愛着を育てコミュニティを豊かに、後世に伝えるという大きな課題に取組み、見事に出版されたことに敬意を表します。また、出版事業は補助金のみでは到底不可能な部分を、企業や市民に協賛依頼し資金調達できたところは学ぶべきところです。</p> <p>【委員】 この事業は今回をもって無事終了しました。懸念していました資金の調達も多くの人々と団体の協賛金が集まり、冊子の発行ができた様です。本の内容も良くまとまっていて、興味深く読むことができました。報告会の時の皆様の晴れがましい様子を見ることのできたのは、見守ってきた我々にとっても喜びを覚えました。事業成果の振り返りの評価がすべて⑤になっているのも納得のできる結果ではないでしょうか。望むらくは、この成果を踏まえ、地域の歴史の掘り起こしのノウハウを伝授する事業を進めていただければと期待します。</p> <p>【委員】 すばらしい成果を挙げられました。今後は、出版本をもとにした講演会(有料)と、周囲におられます同好の士の方々へ、ノウハウを伝授し、松戸市内にこのような方々が増えるのを期待します。</p> <p>【委員】 『わが街河原塚 いまと昔の物語』を読ませていただきましたが、河原塚の歴史が手に取るように分かり、住民の方の郷土愛もますます深まったことだと思います。冊子発行をもって事業完結とのことですが、市民活動のモデルケースとして各方面への情報提供をお願いしたいと思います。</p> <p>【委員】 地域の歴史に特化して深い内容まで掘り下げた調査研究を進め、集大成としてまとめた意義は大きい。町会をはじめとした、多くの方々が事業に参画し、地域の歴史の礎となるような記録をのこされたことは非常に興味深い。他の地域でも同様の試みが検討されるなどの広がりも素晴らしい。この河原塚地区は古墳などの遺跡そして縄文遺跡なども多く残されており、現代に至るまで人々の暮らしが積みかさねられた地区であり、歴史研究には格好の地区である。反面、新興の住宅地区などでは歴史的経過が薄いところもあり研究材料などの工夫も必要である。</p>

平成28年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・ステップアップ助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
2	「高校進学のための学力アップ教室」事業	認定NPO法人外国人の子どものための勉強会	<p>【会長】 本事業により、この教室に通った生徒たちの基礎学力を高めることができ、未来の選択肢を広げ、選び取ることを後押ししたと高く評価します。加えて、学習支援する体制を充実させ、実践的な活動につなげた点も高く評価します。 本事業は、市民目線から見て公教育の行き届かないところを補完する取り組みであり、NPOの役割を示した事例だと思います。 小さな取り組みですが、この積み重ねが松戸の地域社会や学校社会のユニバーサル化(誰でもが出自に関わりなく未来の機会を選び取れる)を促す推進力の一つになることを期待します。</p> <p>【委員】 グローバル化時代の今日、「外国人」の子どもに対するケアは重要ではあるが、あまり話題に上がってこない課題である。しかし、日本の伝統文化を理解してもらうためにも、当該事業は大いに評価できる。「多文化共生」の観点から、市内全域にこうした活動が普及することが望ましい。今後はどのように当該活動を市内に認知してもらい、多くの方々に関わってもらえるかが継続性のカギとなろう。重要な活動なだけに、メンバーの補充を含め、長期的な視野を持った活動が望まれる。今後も頑張っていたきたい。</p> <p>【委員】 多文化共生社会松戸の実現のための、優れた事業であると思います。助成事業後の自立をどうして行くのかを、きちんと考えてほしい。300名の外国人の子ども達が幸福に学べる仕組みを作れるように、松戸市と連携をしっかりと行ってほしい。</p> <p>【委員】 外国人の子どもの高校進学のための個人的対応は、非常な労力と経済力が必要と思われる。この学習支援事業は、日本で生活し、活躍していくであろう生徒と家族の大きな応援になっていると思う。多様なスタッフ確保とスキルアップ研修で、入学後を視野に入れた対応も頼もしい限りに思う。</p> <p>【委員】 今後も増える外国人の子どもたちに対応するためには、行政と協働した体制づくりが必要だと思います。ひとつの民間の団体だけでは、現在の300人に対応することは難しいと思われます。この事業では、高校入試に合格するという明確な成果が出ており、スタッフ研修や授業見学、プログラムづくりなど助成金の効果的な活用になっています。</p> <p>【委員】 これからの日本社会の在り方として、外国人の流入が増える傾向にあるのは確実です。そんな中で、外国人の中学生が高校受験を受けるための学力アップを手助けするこの事業は、タイムリーであり、一般の予備校や塾では抜け落ちている部分ではないかと思えます。活動の方もスタッフの研修や日曜教室の開催等、大変熱心に進められた様で、生徒の受験結果にも十分成果が出ている様です。今後ともスタッフの能力を上げると共に、指導のノウハウを磨くことにより、外国人の中学生が安心して自分の望む方向へ進むことが出来る社会が実現するように頑張ってください。</p> <p>【委員】 すばらしい活動だと思います。海外から来た人々への援助で、いい成果も挙がっています。今後は、あまりきばらず、月例会程度まで増やせるといいでしょう。</p> <p>【委員】 指導スタッフの募集から研修まで大変うまくいっています。生徒の募集および教室については多少の改善点があるようですが、目標を達成しています。日本語力・学力を向上させるためには、マンツーマンの丁寧な指導が効果的です。今後ともこの体制が維持できればと思います。</p> <p>【委員】 現在、教育現場では格差が大きな問題となっており、経済的な負の連鎖が存在し、それを断ち切るための取り組みも始まっている。このような中で外国人の子供たちの置かれている状況は更に厳しく、進学、そして就労などを手助けすることの意義は大きい。講師についても、一般の方以外にも教員OBの方や、以前この場で学んだ卒業生が参加するなど、理想的な環境が生まれつつある。日本社会の中で自立できることは、本人や家族のみならず、日本の将来にとっても有意義である。</p>

平成28年度実施分 評価コメント(市民活動助成事業・ステップアップ助成)

NO	事業名	団体名	評価コメント
3	地域連携による成年後見制度の普及・啓発・利用促進事業	認定NPO法人 東葛市民後見人の会	<p>【会長】 本事業では、松戸市社会福祉協議会、小金原地区と新松戸地区の高齢者支援連絡会および地域包括センター、いらはら診療所グループとの連携が生まれたことを評価します。この連携が貴団体の活動展開に弾みをつける新しい選択肢になることを期待します。 貴団体のこれまでの活動により松戸市ほか東葛地域において、成年後見人制度および市民後見人の認知度と理解度が高まってきたと思いますが、一方で市民後見人の社会的な評価や信頼が定まっていない状況があり、その壁を乗り越えるには上に挙げた諸団体などと連携し、社会的な評価と信頼を獲得する取り組みが大切になると考えます。</p> <p>【委員】 テーマとなっている「地域連携による成年後見人制度の普及・啓発・利用促進事業」は、これからの超高齢社会において大いに期待できる。超高齢社会においては、財産問題などを含め、成年後見制度の活用が増加することも見込まれる。その際、地域包括支援センター、社会福祉協議会(各地区社会福祉協議会を含む)、NPO、さらに市担当課、町内会、自治会などとの連携はますます必須となる。「講演会」「講習会」等を地元の地域包括支援センターや、地区社会福祉協議会とも行っていったことはすばらしい。今後とも、会受講生たちとも松戸を支えてほしい。</p> <p>【委員】 大変すばらしい事業だと思います。市民後見人養成セミナー卒業生の実績等について、情報発信をして行けると良い。市民後見人養成者数は4回×40名＝160名。利用者数10名(登録者数)(松戸支部)相談7名、任意後見3名と実績を上げている点が評価できます。</p> <p>【委員】 今後さらに必要性が高まる事業と思われる。初めての受講者も増え、その後のレベルアップ研修会への参加者もあり、期待の大きい事業展開と思う。</p> <p>【委員】 当初の計画通りに事業をすすめられ、関係する機関との連携ができたことは、今後の活動にとって何よりの成果です。市民後見人に関する情報を必要としている人に届けるために、今後の継続的な取組みに期待します。</p> <p>【委員】 現在の日本における大きな問題として、高齢化問題と認知症の増加の問題があります。その状況の中で、認知症の介護に携わっている方や、これからの老後生活に不安を抱えている人達に対して有効な情報を知らせる為の有意義な活動がこの事業です。講演会、講習会、相談会、市民後見人養成講座などを精力的に実施し、それなりの成果を出している様です。成年後見人という言葉は知っていても、それが自分たちの生活にどのような役割を果たすのかを知っているか否かでは、これからの人生に大きな差が生じる可能性があります。平成28年度の成果を踏まえて、平成29年度は更なる躍進を遂げていただけることを願います。</p> <p>【委員】 このような制度が周知されるよう地道な活動の継続が行われることを望みます。</p> <p>【委員】 地域との連携に関しては、相応の効果を上げつつあります。高齢化社会にとって、成年後見制度は必要不可欠な制度だと思います。その制度の普及・利用促進を図る活動に敬意を表します。</p> <p>【委員】 少子高齢化が急速に進む中、老後の生活に不安を抱えている市民が多く、この制度の普及と啓発は意義が大きい。この制度を利用しようとする方と後見人になろうと考える方に分かれると思われる。今回の事業は後見人を育成することを目的としたものであり、実際に後見人として活動されるに至った方が少ないのは残念であるが、それだけ難しい面もありハードルが高いことがうかがえる。実際にこの制度を機能させるためには後見人の数を増やしていく必要があり、大きな課題である。それと、一般の方々には後見人の利用についての関心が高く事業の今後に期待が大きい。</p>